

私が見上げるボトルの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	私が見上げるボトルの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	私が見上げるボトルを読んだことのある20代～50代の男女27名
調査期間	2025年6月29日～2025年6月30日 2025年7月27日～2025年7月28日 2025年9月8日～2025年9月9日 2025年10月8日～2025年10月9日 2026年1月5日～2026年1月6日 2026年2月25日～2026年2月26日 2026年9月1日～2026年9月2日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/watasigamiagerubotoru/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 私が見上げるボトルを実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 私が見上げるボトルを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	1人
20代女性	1人
30代男性	6人
30代女性	5人
40代男性	4人
40代女性	10人
50代男性	0人
50代女性	0人

Q2: 私が見上げるボトルを実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～
 ★★★★★(とても面白かった): 絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい
 ★★★★★(面白かった): 漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。
 ★★★(普通): 面白いとも面白くないとも言えない。
 ★★(面白くなかった): あまり好きではない描写や要素があった。
 ★(全く面白くなかった): 読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	12人
★★★★★	14人
★★★	1人
★★	0人
★	0人

Q3: 私が見上げるボトルを実際に読んだ感想を教えて下さい。

女性のことを考えられない、下手くそで自分勝手な彼氏。こんな経験をした女性も多いのではないのでしょうか。自分が下手だったり小さいだけなのに、相手のせいにするのが許せないです！まさにダメ彼氏あるあるだなあと思いました。なので、絵的には男性向けかと思いましたが、特に女性におすすめしたいです。雨宮さんも可愛いですよ！

女性から見ても、雨宮さんがすごく魅力的です。高身長ですが骨でギスギスといった体型ではなく、ほどよくむっちりさもあってまるでグラビアアイドルのような体型。それでいて、ちょっとロマンチックなところに憧れちゃったりもするところが本当に可愛いなと思いました。表情も魅力的ですごく良かったです。

絵柄が少しレトロな感じで、新しい漫画だし新しい要素もあるのですが、どこか昭和ちっくな雰囲気があるところも良かったです。それに、何より二人ともすごく魅力的！彼氏と別れたことで高身長がコンプレックスになってしまいそうな雨宮さんでしたが、森田君がいてくれて本当に良かった！地味だけどアソコが大きい男性というのも、なかなか刺さりますよね。

高身長のヒロインが抱えるコンプレックスを丁寧に描くことによって、読者がヒロインに感情移入できるような物語になっているのが良かったです。そして自分よりも身長の高い男子と出会い、そこから彼女が素の自分をさらけ出せるようになっていく過程は見てのこちらも幸せな気持ちになります。この作品のタイトルの意味が途中でわかったとき、思わずニヤリとしてしまいました。

パッと見たとき、タイトルの意味がよくわからなかったのですがまさかあれのサイズのことだったとは。森田は陰キャっぽいけど、女の子の扱いがうまいです。優しいし、気遣いも良い。身長が高いというコンプレックスがあるようですが、雨宮もかわいしいし読んでいて微笑ましい気持ちになりました。

ボトルの正体が分かって笑っちゃいました。体格差カップル。女性が小さければ喜ばれるけど、逆だと世間はあたりが強いんですね。それで文句言う男は身長だけでなく肝っ玉も小さい。別れて大正解です。顔もかわいしいスタイルも抜群。モデル体型でうらやましい限りですけどね。それにしても、背が高いとあそこも大きいってそうなのでしょうか。

体格差でうまくいかず、選んだのは背が高い森田君。ペットボトルみたいって、これからはペットボトルを見るたびに思い出してしまいそうなんですけど。低身長じゃなく高身長カップルの作品ってのも珍しいかも。でも、食

生活が欧米化して女性でも背が高い方は増えました。平均から遠いといろいろと悩みを抱えてるんでしょうね。

女性の側のことなんて考えず自分のペースで進めて、しかもやることだけやってさっさと別れを切り出す。超最低な元カレです。別れて正解。っていうか、こんな奴が初めての相手だなんてかわいそうすぎる。体格差カップルは世の中にもっといるわけで、そんなのちゃんと愛があれば乗り越えられると思うんですけどね。タイトルがナイスです。

恋愛って人間関係の延長でもあり、精神的な満足感も必要なものだと思います。ですが、恋愛になると、その順序が逆になりがち。なぜか精神的な満足感をおろそかにして肉体的な満足感が優先してしまったりしますよね。雨宮さんを見ていると昔の自分と似ているので、感情移入してしまいます。そして、森田くんのような人に出会えたのがすごく幸運だったなと思いました。個人的には恋人関係でなくとも、精神的な満足感を得られるなら全然アリなタイプなので、うらやましいです。

よくある彼氏との行為で満足できない女の子が、自分を満足させれる男に出会ってようやく満たされる系です。個人的には、「相性が良くない」「満足できない」までの表現は良かったんですが、それがサイズだけに帰属されていたのがもったいない印象でした。多分主人公が不満なのは、サイズだけではなく、「目の前の自分と向き合ってくれない行為」なのかなと思いましたので、もう少し「自分よりさらに強い雄に征服される」感や「前の男よりもずっと繊細に自分の体を扱ってくれる感」も合わせて強調されていれば、もっとポテンシャルを活かしたのかなと思います(元カレも無駄に？体格が良かったので対比は明確ではなかったような)。でも、女の子の体の表現はとても綺麗で個人的には好みでした。

ヒロインが自分のコンプレックスを忘れさせてくれる男子と出会い、女の子らしさを取り戻していくところがよかったです。前半ではヒロインが可哀想な目に遭うシーンばかりだったので、少しずつ幸せになっていく展開に変わっていくのに安心しました。刺激的なシーンもありつつ、若者ならではの初々しい恋愛要素を感じられる作品で、大満足でした。

高身長女子の雨宮が、自分よりも身長が高い森田に何とか近づこうとアプローチしようとする様子が可愛かったです。雨宮は森田に対して恋愛感情を持っているというよりは、周りの人たちがしていた森田のある噂話の真相を確かめようとしています。なので、森田を呼び出すシーンから、雨宮の好奇心の強さや大胆な性格が伝わってきました。この二人がどんな関係になっていくのかは、ぜひ今作を読んで確かめてみてください。

面白かった。絵はあまり好みではなかったがシチュエーションが好き。個人的に自分より背の大きい女性と経験がないので自分は一度経験してみたいなとは思っていたところ。また自分のものも特に大きいと自覚していないので大きいと自信が持てたらもっとろんなこと経験できていたのかなとも思った。現実世界ではないことなので漫画で楽しんでおきます。

男子より身長が高くて女の子として見られたい、そんなヒロインの切ない思いや葛藤が伝わってくる作品でした。そんなヒロインの救いとなるのが、ヒロインよりも身長が高い男子生徒の森田です。この二人が出会ってからは、読者の想像を飛び越えていくような衝撃の展開が起きまくりで面白かったです。二人とも高身長なので、並んでいるときの迫力が凄くてそこも印象に残りました。

タイトルだけで丸わかりな超長いタイトルとかもある中、これは作品読むまでわかりませんでした。そして詩的な表現ながらもさかのボトルの正体に大笑い。それぞれが大きい同士。こんなカップルもいいんじゃないですか。それにしても、女子も聞いているような場面でどんな会話を男子たち、やっているのか。クラスメイトのサイズとか知らされても。

体格差とか関係ない。相手のことを思っているものでしょう。自己満足で終わって、うまくいかないのは体格差のせい。そんな風に言う元カレは最低です。大きな女の子っていうけど、かわいらしい。それに相手もまた巨大な男性だからこそそんなに構図的に不自然さはありません。体格差を望む人にはとにかく、高身長女子もかわいいってことで。

振られても、気になる噂を聞けば自分の満足のためにとすぐにも飛び出していく。ガツガツと行く肉食女子、嫌いじゃありません。場面は体育倉庫。マットはもちろん、特典ボードとか跳び箱といったおなじみのグッズがあって、それでヒロインの体格ってのがよくわかって。おもしろいと思っちゃいました。

不完全燃焼のまま終わることとなった元カレとの関係。デカイと文句言ってたけど、そっちが不慣れなだけでしょう。元カレの態度にはイライラ。でもそれよりも、自分の気持ちを満たすためにとガンガン迫っていくヒロイ

ンが現代の女の子って感じていいなと思いました。ヘタ男なんてこっちから振っちゃったらいんですよ。得点版、こんな使われ方をするとは。
元彼に可愛くないと言われてしまった主人公ちゃん。こんなにもスタイルが良くて可愛い女の子の初めてを奪っておいて最悪でした。でも、その後大きいと噂の男子とすることに。やっぱり男としての圧倒的な差のようなものを感じることができて良いですね。単純にアソコの大きさだけではなく、人として元彼よりもずっと大きい相手だと思いました。
雨宮のように運動部系女子の悩みに準えた背景をもとに作られており、作者のよりリアルを追求したい気持ちが沸々と伝わってくる作品だったと思います。ただ、雨宮があまりにも直球すぎるところが少しリアルさを欠いていたかなと思います。運動部だから直球勝負という固定概念の元突っ走るのも悪く無いとは思いますが、少し恥じらいながらも、どうしようもなかった感や、これしかなかった感をコマ割りを増やして表現し、よりその決断に時間がかかったことを表現するとお淑やかさが出ていい味になるのでは無いかなと思いました。
デカ女扱いされてフラれたりして散々な女子が、ボトル系男子(そんなのいるか?)に夢中に。タイトルは一見意味不明ですが、きちんと回収されています。大きなモノでひたすら喜びを覚えさせられて…。想像よりもかなりシンプルな展開でそられました。すべてが大きいのがいいですね。
こりゃ確かにボトルですね。表現がナイス。男子ってトイレで連れションするわけですが、意外に見てるんですね。そして対するは高身長ヒロイン。ボトルにはやはりこれくらいのデカブツじゃないと太刀打ちできないのかも。身長高いしがっすり系だけどちゃんとかわいい。女子がこれくらい本能的にフルスロットルでも全然いいと思う。
すべてのスケールが大きめな女性。でも肉体美をきちんと描いていて非常に魅力的です。作中で元彼に馬鹿にされてはいますが、現実には絶対モテまくりでしょうね。自然に自分の欲望を満たすために動いてしまったりと、雰囲気はかなり肉食系。身体の求めるままに行為に励むのがとっても魅力的でしっかり使えるシーンたくさんでした。
ボトルって何のことかと思いきや…納得です！あれだけの太さがあつたらどんな女性でも夢中になってしまうと思うんですが、長身女性ということで余計に妙な想像が膨らむ作品になっています。長さだけでなく太めのものを求めて夢中になってしまうとは。ひたすら溺れる長身美女がみたいならぜひおすすめな作品です。
ユニフォームからはち切れそうな身体つき…。不完全燃焼で満足できないから求めてしまうのかと思ったら、元々惹かれていたんですかね。地味だけど自分よりもさらにデカイ男相手に、ちょっとライバル心を抱きつつも好きになってしまう。隠せない好意をストレートにぶつけてしまう流れがめっちゃ可愛い。長身同士のカップルって新鮮かもしれません。
そういった欲望があるのは男だけじゃない。女だって同じように持っている。それにおつきいからって心まで男らしいわけでもない。その体格は小柄な自分としてはうらやましい限り。そして欲望に忠実なところもまた、ちょっぴりうらやましく思っちゃいました。それにしてもボトル。言い得て妙ですね。ボトルにはこれくらいの体格ないと太刀打ちできない。
雨宮が溜まりに溜まっているときに「ボトル」と聞いて、生唾を飲むシーンが個人的に好きでした。あの絶妙な表情は流石、しっとりボウズ先生。その後の表情もそうなんですけど、この発情してて我慢できない感じが無茶苦茶上手に表現されてるんですよね。恥ずかしそうにしたり、ドヤ顔になったり、どの表情も可愛いです。あとは高身長らしく、大きな体が画面いっぱい描かれているのはドキドキしましたね。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス